

不登校の要因と傾向

学校に行きたいけど行けない

学校に行きたくない

経済的困窮や家庭の養育環境が不登校につながる傾向がある

- ・経済的な厳しさ等から養育放任となり、学校へ行く環境が整わない
- ・保護者が過保護のため、ちょっとしたことで学校を欠席させる

友人関係の悩み、学業不振から不登校になる要因が高い

- ・友人と気まずくなり、仲直りできずにいるため、学校へ行きづらい
- ・進級や進学したクラスや学校になかなか馴染めない
- ・学校には行きたいが、部活動の上下関係が苦手で、考えると憂鬱になる

勉強がわからなくなり、苦痛だ

個人の要因として不安や無気力の傾向が多く見られるが、他の要因と複合的に関連しており、本人や保護者も理由がはっきりしないことも多い

- ・人前に出ると過度に緊張して疲れる
- ・もともと人と関わるのが苦手で人に会いたくない
- ・自分のやりたいことが見つからない
- ・学校よりネット・ゲームに興味がある

取組の方向性

① ② ③ ④ ⑤ ⑥
 づし新
くなら
りいな
よよう
登な校
学が校
生

② 目級学
の・校
な進い
い学お
支時け
援のる
切進
れ

③ 生校学
徒が校
へ継に
の続お
学しけ
習たる
支児不
援童登

④ 者教職
の員お
質よ
量よ
のび
確支
保援

⑤ 支や教
援関育
の係支
充機援
実関セ
ン体
タ制

⑥ 援抱不
え登
る校
家児
庭童
生
の徒
支を

未然防止

学校に登校している状況
 ・児童生徒にとって居場所と感じられる安心安全な学校
 ・児童生徒が主体的に取り組む活動を通じ、自らが「絆」を感じ取り、紡いでいける学校

魅力ある学校づくり【方向性①②③⑥】

【安心・安全な学級、学校づくり】
 ・学校経営に位置づけた生徒指導の実践
 ・いじめや暴力行為を許さない学級づくり
 ・中学入学後早い時期の仲間づくり合宿

【学ぶ意欲を育む学習指導の充実】
 ・「わかる授業」の実施、補充指導の充実
 ・体験活動を通じて、生き方や夢、目的意識を考える指導

【学力の定着・向上】
 ・基礎学力の定着
 ・「わかる授業」の実施（授業の質の向上）
 ・放課後等学習支援の充実

【特別活動の充実】
 ・学級活動、児童会・生徒会活動、学校行事を通じた人間形成
 ・自然体験型学習による他者と協働する力の育成

【校種間連携】
 ・自己有用感を高める異学年交流活動の拡充
 ・校種間での情報共有（中1学級編成への小学校教員の参画等）

【地域連携の推進】
 ・地域と連携した特色ある教育活動の充実
 ・コミュニティ・スクールと地域学校協働本部との一体的な取組の充実
 ・放課後学習支援の充実
 ・良好な親子関係を築くために『家庭で取り組む 高知の道徳』の活用

支援者のスキルアップ【方向性④⑤】

【支援者の支援スキルの向上】
 ・S Cを活用した校内および教育支援センター等への研修
 ・教育支援センター連絡協議会

【教職員の人権意識の醸成】
 ・人権課題や開発的生徒指導に関する研修

初期対応

潜在期
 不登校のリスクが潜在化している状況
 ・学業の不振
 ・人との交流が苦手
 ・情緒的混乱
 ・厳しい家庭環境 など

初期
 登校しづり等が見られる状況
 ・起床時間が遅くなる
 ・朝だけ体調不良になる
 ・不安に襲われている など

本格期
 登校困難な状態が本格化している状況
 ・学校にほとんど行かない
 ・昼夜逆転した生活
 ・ネットやゲームに没頭
 ・生活習慣が乱れる など

回復期
 心身のエネルギーがたまり始めた状況
 ・親しい人と会話できる
 ・暇や退屈を感じている
 ・学校や社会への不安や恐怖もある など

始動期
 外部とつながろうとする意欲を持ち始めた状態
 ・教育支援センターや別室登校ができる
 ・「○○したい」という意見を言う など

早期対応のための学校の体制強化【方向性①②④】

- 【不登校担当教員(者)の力量形成】**
 ・全小中学校に不登校担当教員(者)として職務を位置づけ
 ・管理職と連携して力量形成の体制整備
- 【校務支援システムを用いた迅速な情報共有の強化】**
 ・不登校担当教員(者)による情報の集約及び管理職への報告の徹底

チーム支援・切れ目のない支援の強化【方向性①②④】

- 【校内支援会の強化】**
 ・個別支援シート、支援リストの活用
 ・学年間、校種間の情報共有と引継ぎの徹底
 ・一定学校規模が大きく不登校出現率が高い学校へSC・SSWの傾斜配置
 ・SC、SSWの資質向上
 ・少しでもリスクがある児童生徒への早期支援の実現（SC・SSWによる授業観察等）

学校全体の指導・支援体制の充実【方向性②③④⑤⑥】

- 【個に応じた継続的な支援】**
 ・養護教諭の役割と保健室等の「居場所」の充実
 ・個別支援シートに基づく組織的かつ継続的な支援
 ・「不登校の予防・対応のために」の改訂と活用
 ・児童生徒支援加配教員の活用の充実

- 【教職員の資質向上】**
 ・「不登校対策チーム」の訪問支援によるチーム支援の推進
 ・教職員研修（児童生徒理解、学級経営力向上等）の充実

- 【教職員の資質向上に関する内容】**
 ・教員が学び合う仕組みの構築（「タテ持ち型」「教科間連携型」「タテ持ち・教科間連携型」）
 ・不登校担当教員スキルアップ研修等の実施
 ・若年教員等育成のためのメンター制の導入

- 【関係機関や家庭等との連携】**
 ・教育支援センター等関係機関への確実なつながり
 ・家庭訪問、学習状況の把握、評価の工夫等継続的な関わり
 ・医療機関や専門機関等にスムーズにつながるよう福祉部局等と協議の場を直ちに設置

個に応じた支援環境の充実【方向性③⑤】

- 【個に応じた継続的な支援】**
 ・別室や保健室登校に対する体制と環境の整備
 ・青少年教育施設における野外体験を通じた支援

多様な教育機会の確保【方向性③⑤】

- 【教育支援センターの機能強化】**
 ・教育支援センターをSC・SSWの活動拠点として、相談支援や家庭支援を強化
- 【学習支援の充実、教育支援センター未設置町村での新設、広域での受け入れを促進するため、教員OB（非常勤職員）を配置する補助事業を創設（週3日8h勤務）】**
- 【心の教育センターによる教育支援センターへの支援の強化】**

- 【夜間中学における受け入れ】**
 ・学び直しの場として形式卒業者の受け入れ
 ・自主夜間中学の開設支援

- 【フリースクール等民間施設との関係構築】**
 ・連絡協議会の実施

社会的自立への支援【方向性⑤⑥】

- 【若者サポートステーションでの支援】**
 ・相談など就学・就労に向けた支援

保護者・家庭への支援の充実【方向性⑥】

- 【相談支援体制の拡充】**
 ・心の教育センターの相談支援機能および体制の強化
- 【心理的不安の軽減】**
 ・保護者のつらいの実施
 ・相談体制の強化
- 【不登校理解の促進】**
 ・PTA、家庭への研修の実施

包括的な家庭支援【方向性⑤⑥】
 ・SSW等による情報収集の強化 ・医療・福祉等関係機関との連携の強化 ・専門家等と連携した個に応じた支援内容の検討・充実

魅力ある学校づくりの推進

社会的自立に向けた多様な学びの場の充実